

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

「小中合同マラソン大会」



11月10日、秋晴れのもと小中合同マラソン大会が開催されました。グラウンドに集まり開会式が行われ、小学校の伊田校長先生から激励のあいさつがありました。そして、小学校の低学年からスタートしていきました。

学年が上がるほど、走るスピードも速くなり、自己記録に挑戦しながら走る者、完走をめざして自分のペースで走る者、友だちと競いながら走る者など様々な光景が見られました。そして、今年も中学生の部には6年生も参加し、中学生の速さにとても驚いていました。

コースのあちこちでは、「頑張れ」「ファイト」「ラストスパート」などの応援の声がたく

さん聞かれました。小学生は中学生の速さやウォーミングアップの様子を間近に見ることで、「すごいなあ」「あんなふうになりたいな」という気持ちが持てたようです。このように、合同開催でしか実現できない関わり合いやふれ合いも見られ、とても有意義な大会になりました。

沿道では、地域の方や保護者の方の大きな声援もあり、マラソン大会を盛り上げてくださいました。みなさん、ありがとうございました。



にちなん子ども応援隊だより No. 67



こんにちは。

朝晩、めっきり冷え込むようになりましたが、皆さまお変わりはありませんか。日南っ子達は元気に過ごしております。子ども応援隊も日南っ子達に元気をもらっています。

10月の活動は、定期的なもの他、図書館内整備（タペストリー作り）、2年アフタースクール（10月から開始）、家庭科支援（5年）、理科・生活科支援（やまびこ学級）と2学期ならではの盛りだくさんでした。多くのボランティアの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

今回は、図書館内整備と家庭科支援を紹介致します。

図書館内整備と聞くと難しいように思われるかもしれませんが、今回は図書館を飾るタペストリー

の作成でした。材料と道具は布、糸、接着剤とはさみ。得意な者、不得意な者、みんなでわいわいと楽しく



作成しました。そして、出来上がったのを見、子ども達にも「明るくなりました」と言われ、みんな笑顔になりました。

また、5年生の家庭科支援は、ミシンを使ったナップザック作りの見守りでした。作業が早い児童やゆっくりの児童など、いろいろいる中、班で1台のミシンを譲り合っていました。また、早くできた児童が、ゆっくりの児童を待ってあげたり教えてあげたりする姿を見て心が温かくなりました。後でボランティアの方々との会話がとても楽しかったと聞きました。

「にちなん子ども応援隊」に興味・関心のある方、参加ご希望の方はぜひご連絡ください。お待ちしております。

教育委員会
0859-82-1118

